

# 一般質問項目一覧(質問順)

## 1. 並木 正年

①電力不足における本市の節電対策 ②鴻巣市地域防災計画の課題 ③災害時・緊急時における救急救命 ④鴻巣駅西口の交通

## 2. 川崎 葉子

①防災行政無線の課題と災害メール配信 ②学校・公共施設の災害対策 ③高齢者や障がい者など災害弱者を守る体制 ④予防医学の観点からの胃がん検診のあり方

## 3. 潮田 幸子

①災害時の危機管理 ②被災者支援システムの導入 ③節電時における高齢者熱中症対策 ④ブックスタート事業 ⑤5歳児健診 ⑥乳がん・子宮がん検診受診率向上

## 4. 菅野 博子

①鴻巣駅東口再開発事業 ②震災・防災対策 ③自治会の報償金 ④福祉施策 ⑤エアコンの設置とトイレの洋式化

## 5. 坂本 晃

①市内の消防施設の現状 ②市内の橋の整備 ③公共トイレの設置状況、表示について ④原動機付自転車のナンバープレートを鴻巣独自のデザインに

## 6. 岡田 恒雄

①東日本大震災での本市の対応 ②第1回こいのす花まつり ③東日本大震災における本市の財政への影響 ④新エネルギー政策の強化

## 7. 橋本 稔

①災害時の事業継続計画(BCP)について ②電力不足対策 ③高齢者の孤立化防止対策 ④24時間訪問介護サービス

## 8. 野本 恵司

①住宅用新・省エネルギー機器設置補助金 ②自主防災組織 ③放射線量測定 ④今後の災害対策 ⑤公の施設における市民の安全確保

## 9. 加藤 久子

①東日本大震災と市の取り組み ②住民投票条例 ③減額した福祉予算を復活すること ④ゴミ焼却炉の早期建設

## 10. 加藤 孝

①東日本大震災への対応 ②風水害対策

## 11. 織田 京子

①公共施設マネジメント白書 ②鴻巣市の放射能対策 ③発達障害 ④総合的教育施設の防災 ⑤保健センターの駐車場と検診

## 12. 矢部 一夫

①東日本大震災における鴻巣市災害対策本部設置状況

## 13. 中島 清

①小学校における新学習指導要領 ②食育教育

## 14. 坂本 国広

①町名変更

## 15. 羽鳥 健

①東日本大震災の被害と今後の対策 ②被災者支援 ③フラワー号の運行

## 16. 大塚 佳之

①都市計画事業「広田中央特定土地区画整理事業」 ②自転車道の整備 ③不法投棄対策

## 17. 金子 雄一

①第1回こいのす花まつり ②公共施設の整備(オストメイト対応トイレ設備)

## 18. 長嶋 元種

①市地域防災計画の見直し ②延長保育事業等の実施 ③北鴻巣駅西口自由通路等の屋根設置 ④外国語教育実施状況

## 19. 頓所 澄江

①災害時の情報提供 ②公共施設の耐震化の状況 ③災害時の相互応援協定 ④放射能の影響 ⑤公立保育所の延長保育・学童保育室の対策

## 20. 中野 昭

①新ゴミ処理施設 ②公立保育所の改築と子育て支援センター ③国民健康保険税の今後

## 21. 谷口 達郎

①市の産業振興策 ②市民プールふきあげ跡地の利用

## 行政委員に対する質問

1. 岡田 恒雄 ①平成23年統一地方選挙

# 市民の皆様の声を市政に

一般質問は、議員に与えられた発言の場で市政について質問をすることが出来ます。  
 6月定例会では、一般質問に21人の議員が登壇しました。  
 限られた字数のため、詳細については本庁・支所にある市政情報コーナーや図書館に備えつけの会議録、市議会ホームページをご覧ください。

## 東日本大震災による 鴻巣市の被害は

**問** 本市の被害状況と近隣市町との比較は。

**答** 4月8日現在で「屋根瓦の破損及び家屋の一部損壊」が1645件、「ブロック塀等の倒壊」が96件、「家屋の倒壊」が2件でした。埼玉県内64市町村の被害状況報告を集計した結果、瓦の損壊などを含めた住家・非住家被害の合計件数を比較しますと、鴻巣市が1600件以上で、本市が40件、桶川市が109件となっており、本市の被害が近隣に比べ大きかったことがわかります。

## 鴻巣市の放射線量は 大丈夫？

**問** 本市における放射線量の測定は、また公表は。

**答** 週1回市内浄水場6箇所から取水した水道水の放射性物質の検査を行っておりますが、これまですべての検査においても「異常なし」との結果がでています。また、教育施設に関しては、市内全27小中学校のプール水の放射能検査を3グループに分け、測定業者に委託して6月9日から7月1日までの予定で1回目の検査を順次行い、その後、水の入替えを行った後1週間程度経過した時

期に2回目の放射能検査を予定しております。1回目の小学校10校の測定結果については、「異常なし」となっています。



市内小中学校で行われている放射線量の測定

家庭などにおける空間放射線量の測定につきましては県と同型の測定器を購入し、県が行う予定の測定地点や時間的な空白部分を補完し、県と同様の調査方法で、市独自の測定を市内小中学校や保育所などで実施したいと計画しています。

今後、市民の放射能に対する不安を少しでも解消するため、調査結果につきましては、速やかにホームページ等で順次公表していきます。

## 新たな 鴻巣市地域防災計画

**問** 東日本大震災における鴻巣市地域防災計画の課題は。

**答** この度の東日本大震災の発生を受け、本市では直ちに災害対策本部を立ち上げ、被害状況の情報収集や危険箇所の応急措置、避難者やJR利用の帰宅困難者への対応等を迅速に実施いたしました。しかし、初動体制において策定していた地域防災計画に沿った対応ができなかった部分もありました。現在、災害対策本部各班の担当業務の検証を行っており様々な課題が明らかになっていきます。

**問** 今後の災害対策は。

**答** 実情に即した計画にするための見直しが必要であり、災害に強いまちづくりを推進するためには、市民の防災意識の向上と防災知識の普及が必要であると考えています。

**問** より実効性のある計画への改善は。

**答** 国や県の防災計画に係る見直しの内容や時期等の動向を注視し、より実効性ある計画へ改善をしていきます。

## 盛況だった 第1回このす花まつり

**問** このす花まつりの実施状況は。  
**答** 今回、開催しました「このす



たくさんの来場者をむかえた花ゲート

花まつり」は、土、日を二度含む連続の九日間を回遊滞在型イベントとして、実施主体を実行委員会形式で取り組み、市内の多くの市民やボランティア、企業等のご協力をいただき官民協働で企画し開催いたしました。

また開催にあたりましては東日本大震災復興の一助となる支援イベントとして開催いたしました。

**問** イベントの成果は。

**答** 震災の影響によるPR不足で期間中の来場者数について心配しておりましたが、延べ15万2千人を超えました。

また、加須市の旧騎西高校に避難されております福島県双葉町の避難者の皆様や、市内に避難されている方々に、ご案内させていただきましたところ、多くの方に足を運んでいただきました。併せまして、各会場での義援金募集活動で集まった義援金は17万1861円になり、過日、日本赤十字社の方へ拠出させていただきました。

イベントを通して地域経済の活性化に貢献できたものと考えます。

**問** 今後の取り組みについては。

**答** 実行委員会・各専門部会におきまして実績の検証、課題や反省点等を検討するとともに来年度の開催に向けた準備に着手していきます。

## 電力事情に伴う 延長保育、日曜保育

**問** 延長保育事業等の実施は。

**答** 電力事情の悪化に伴い保育所の運営に関しても延長保育、日曜保育など保育の需要の変化に対応できる実施体制を確保するよう国から通知がありました。市では、実施体制の構築について検討をいたしました結果、休日保育を実施する方向での検討を進めることになり、現在は、実

施に向けて最終的な詰め作業をおこなっています。

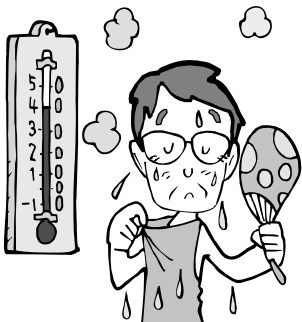
実施の概要

- ・実施期間は平成23年7月から9月
- ・実施場所は「川里ひまわり園」
- ・職員体制については、保育児童数等を考慮し柔軟に対応
- ・利用対象児は、節電対策により保護者の勤務日に変更がある児童

## 高齢者の熱中症対策は

**問** 節電時における熱中症対策は。

**答** 節電対策による熱中症の危険性が高まることが予想されています。今年度におきましては、広報やホームページの他にも何らかの方法工夫して熱中症対策の周知・啓発を図るなど、対策を強化したいと考えています。



こまめな水分補給で熱中症予防を!!

## 選挙管理委員長に対する質問

平成23年統一地方選挙について

**問** 平成22年6月定例会で決議された「公正な選挙の実現に関する決議」はいかされたか。

**答** 公職選挙法に抵触するおそれのあるポスター等の苦情通報は、格段に少ない状況でした。ほとんどの候補者が決議の内容を確認し、公職選挙法を遵守しつつ選挙運動に臨まれた結果ではないかと考えます。

**問** 低投票率について、本市の啓発は十分であったか。また、今後の対応は。

**答** 若年層の投票率の向上を目的に、成人式会場において街頭啓発を行うとともに、投票日当日の防災無線放送を増やし、啓発広報車の実施時間も増やすなどの積極的な啓発を実施しました。今後も、投票率の低下に歯止めがかけられるよう努力していきます。

**問** 苦情等の通報が市議会議員選挙で少なく、市長選挙で多かったと聞いているが、内容と件数については。

**答** 苦情通報の内容の大半は、事前運動が行われているという内容のもです。件数については、市長選挙では約120件、市議会議員選挙では約30件でした。